

夏休みも「自律」をめざして

～自ら考え、選択して行動する夏休み～

いよいよ42日間の夏休みがスタートします。夏休み中の生活については、生徒自らが目標設定し、自主的かつ計画的に生活できるよう学校でもアドバイスをしています。また、生徒が事件・事故に巻き込まれやすい時期でもあり、安全確保及び生命を大切に作る心の育成にも重点を置き指導しているところです。引き続き保護者、地域、関係機関の皆様と社会全体で生徒をサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。また、いつでもご相談ください。

以下3点、おおぐろの森中学校の夏休みのサポート方針及び取組を紹介します。

1 主体的な活動について

夏休みは様々なことにチャレンジすることができるチャンスです。

教科の学習、読書、体験活動、部活動、習い事等、何か一つでも自ら選択し、継続して没頭できるものがあれば、個を伸ばすことができると考えます。

オールマイティーでなくてもいいのです。

2 個に応じた学習について（全校一律の宿題撤廃）

昭和の時代から当たり前のようにある「夏休みの宿題」、果たして効果はあるのでしょうか。ややもすると子どもたちを苦しめ（保護者の皆様も苦しんでいるかも）、自ら考える力を奪っていないかと考えます。平等から公平が求められる昨今、同じニーズや能力を持った集合体であれば同じ課題（平等性）でもいいと考えます。ただし、子どもたちはそれぞれに個性を持ち、違った可能性を秘めています。本校では個に応じて課題（公平性）が選択できるようアドバイスしていきます。よって夏休みの宿題は撤廃します。

3 読書活動及び学びの場の設定について（図書室・図書ラウンジ開放）

おおぐろの森中学校では読書活動を推進しています。夏休みには、図書室・図書ラウンジを読書や学習のため開放します。

◎開放日 7月26日（火）、29日（金）

8月 2日（火）、 5日（金）、23日（火）、26日（金）

◎開放時間 8：30～14：30（7月29日（金）のみ13：00まで開放）

※部活動の前や後、その他、開放日には涼しい図書室・図書ラウンジでゆっくり読書や学習で自己研鑽を！

校長 前川 秀幸